

令和3年度女性に寄り添う「支援の輪」づくり事業【佐賀県】

地域の実情と課題

【実情】(令和元年3月)

▶ 雇用者における非正規雇用: 男性35.9% 女性50.6%

【課題】

▶ コロナ禍で経済や生活への不安などが高まっているが、適切な相談・支援につながっていない女性が増えている。

目的・目標

【目的】

▶ 相談者の課題に対し、適切な相談・支援を行い、相談者の不安軽減・課題解決を図る。

【目標】

▶ サロン参加者の満足度 80%(実績94.7%)

事業の特徴

- ▶ 困りごとを相談できるサロン(場)を設置する
- ▶ NPOと社会福祉士が連携し、相談者(サロン参加者)の課題に応じた支援を提案する

連携団体

女性に寄り添う「支援の輪」づくり事業連絡協議会

- ▶ 男女センター: 佐賀県男女共同参画センター(アバンセ)
- ▶ 社会福祉士: 佐賀県社会福祉士会
- ▶ NPO法人・社団法人: 佐賀県放課後児童クラブ連絡会、Co-ringさが、隣友の会、こすもす村、よりみちステーション、唐津市子育て支援情報センター、CivicForce
- ▶ 社団法人: スマイルキッズ

事業の効果

- ▶ サロンが参加者の心のやすらぎ、生活相談の場となった。
- ▶ サロン運営者(社会福祉士等)の助言が相談者の課題解決・不安軽減に役立った。

今後の課題

- ▶ 長引くコロナ禍で生活に不安や課題を抱える女性に対し、継続的な相談・支援を行っていくことが課題となっている。

女性に寄り添う「支援の輪」づくり事業

目的

NPO等が行う居場所づくり等の機会を活用し、その方が抱えるお困りごとを聞き出し、適切な相談・支援窓口につなぐ

